

令和6年度地方やデジタル分野における専修学校理系転換等推進事業

病院などの医療機関における新卒採用人材に 求めるスキルレベル調査

報告書

2025年2月25日

実施概要

- モデル事業開始～開始直後にかけて、医療施設へのヒアリングを実施
- 実証授業、実証実習への協力機関の確保も兼ねて実施

(目的) IT・AI関連のスキルに限定せず、教育プログラム開発に向けた情報収集を行い、病院が求めている人材要件と専修学校が定めているディプロマポリシーが整合しているかを確認し、新たに開発する教育モデルの必要な要素を洗い出すこと

●実施形態

- 特定機能病院を中心に協力を依頼し、ヒアリング調査（対面・オンライン）を実施

●実施施設（順不同、計14施設）

- 九州大学病院、さく病院、聖マリアンナ病院、マリン病院、国立国際医療研究センター病院、佐賀大学医学部附属病院、済生会八幡総合病院、鹿児島大学病院、小倉記念病院、湘南鎌倉総合病院、聖マリアンナ医科大学病院、青洲会病院、東京女子医科大学病院
- 日本医療情報学会

事前ヒアリングで聞かれた診療情報管理士養成へのニーズ 論点整理

【多くの病院で共通している必要な能力】

- コミュニケーション力
（聞く力、信頼関係構築、チーム形成力、精神的タフさ…）
- 医療的な知識
（医療者との共通言語、医療情報技師・医療事務系などの資格取得…）
- 情報処理能力と課題解決力
（効率的なソフト操作、統計処理の技術、データの読解力と慎重さ…）

【病院ごとに異なると思われる状況】

- 病院規模や部門の性質の違い（統合的な事務部門か、機能分化した部門か）
- 情報システムの運用・企画に近い業務があるか
- 将来のキャリアパス
- 医療DXの導入状況（多くの病院で課題がある現状を聞いている）
※ 学校ではなく、病院現場で身に付けた方がよいこともある